

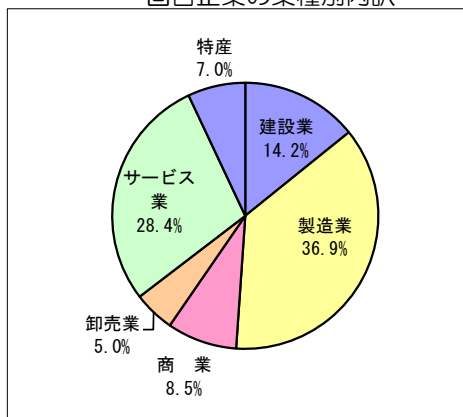
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2021年第4四半期）集計結果

2022年2月10日

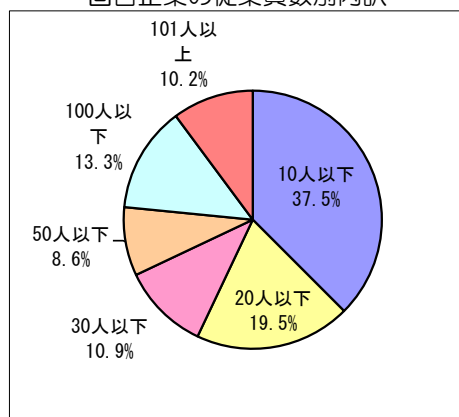
アンケート回答企業数 141社 （アンケート送付数 215社）
 回収率 65.6%

調査対象期間 2021年10月～12月
 比較対象期間 前年同期 2020年10月～12月
 前 期 2021年7月～9月
 来 期 2022年1月～3月

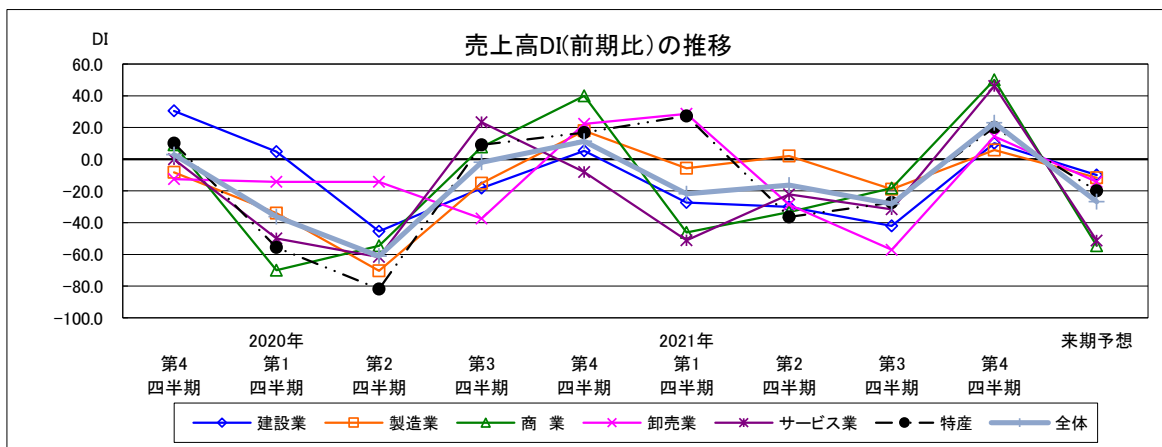
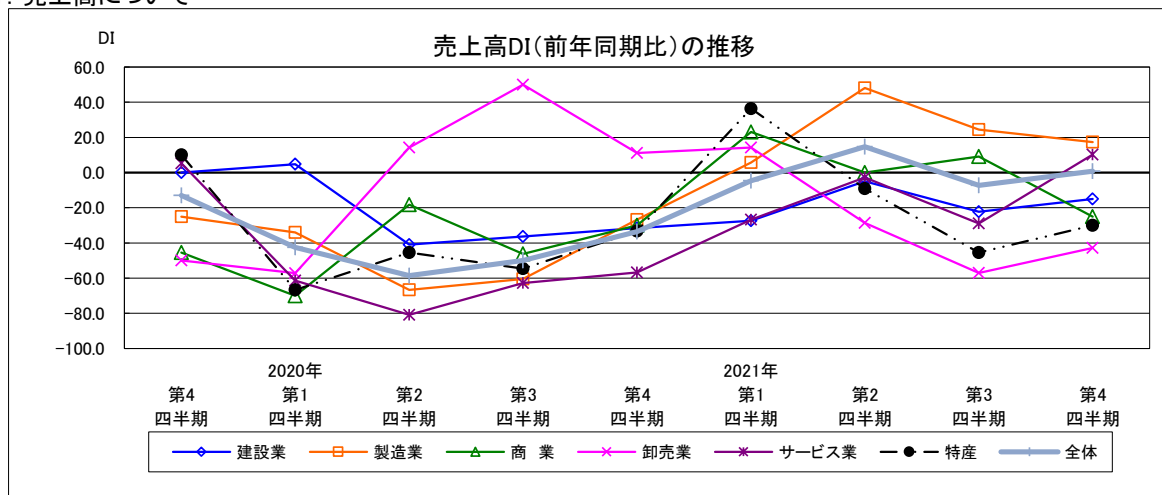
回答企業の業種別内訳



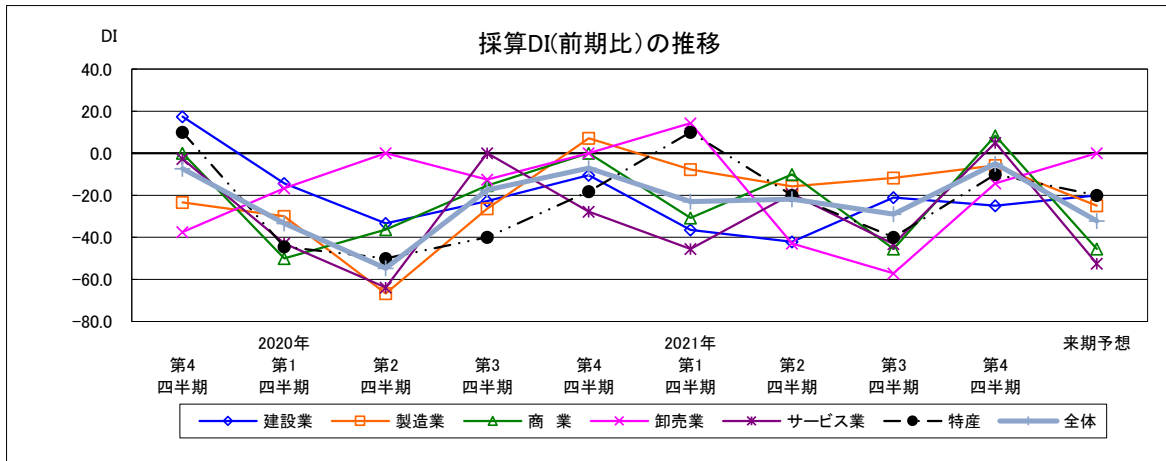
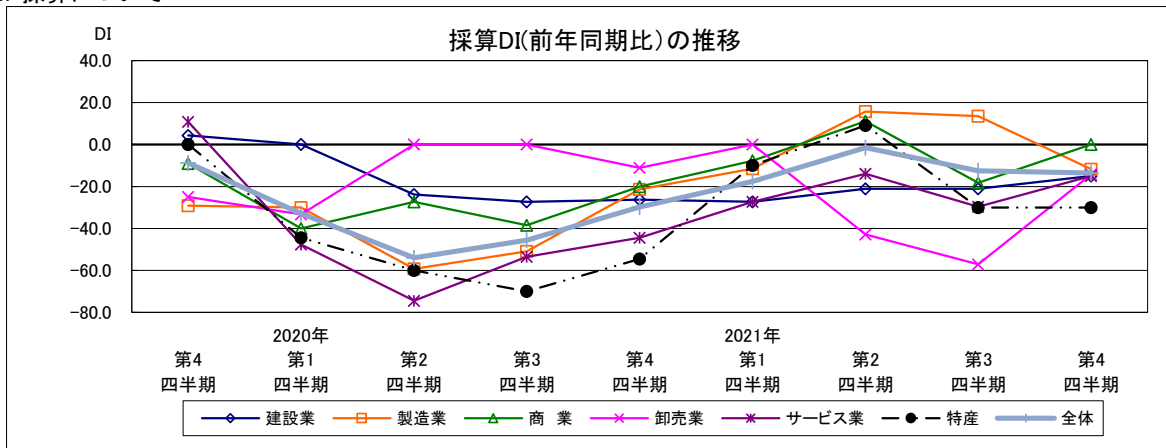
回答企業の従業員数別内訳



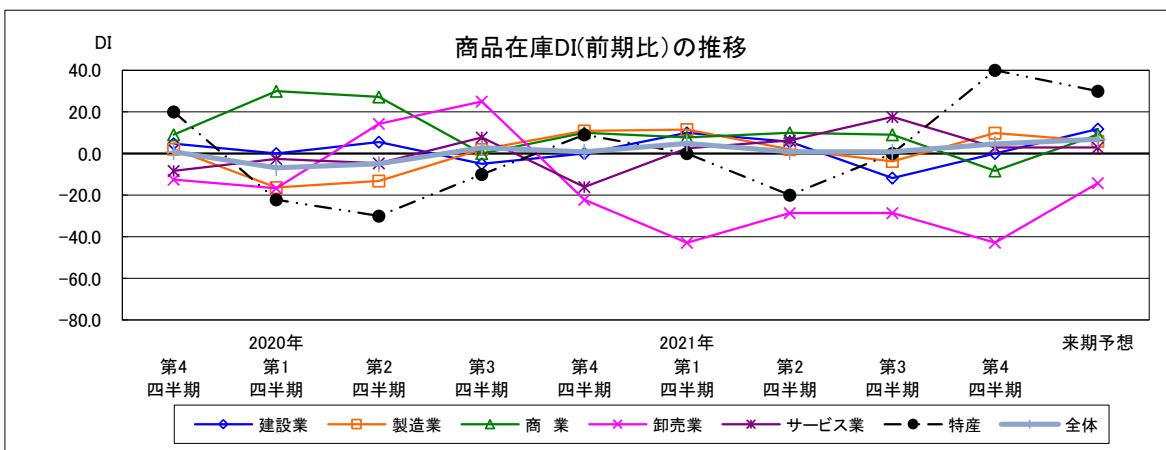
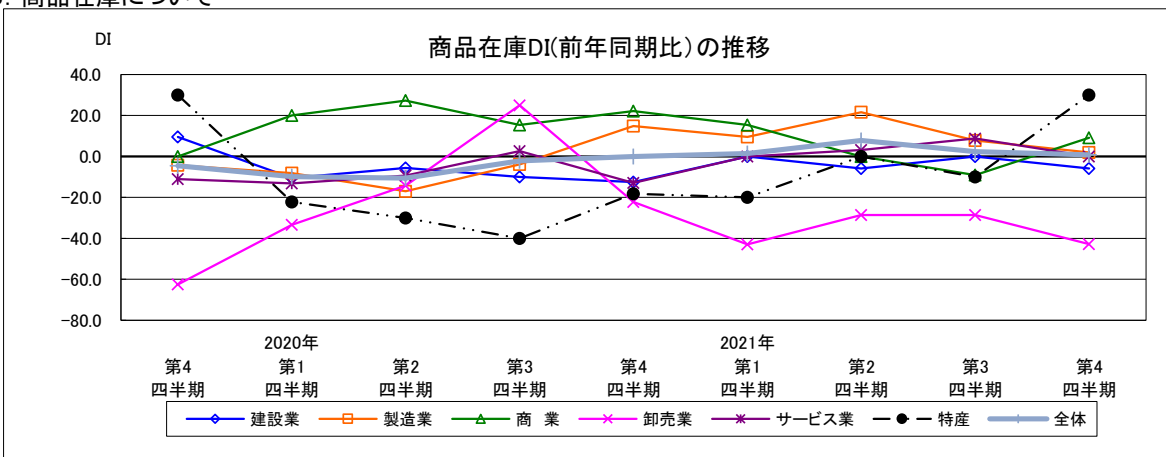
1. 売上高について



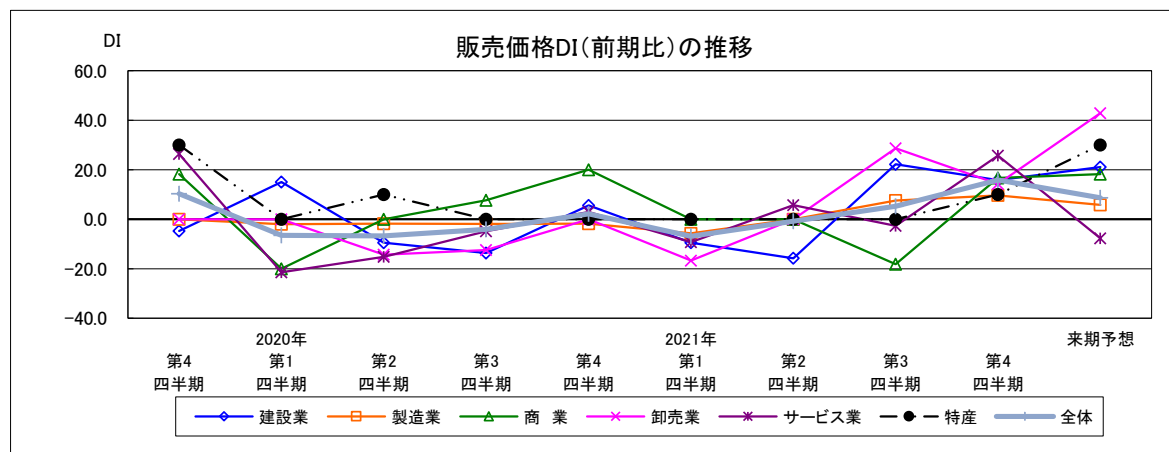
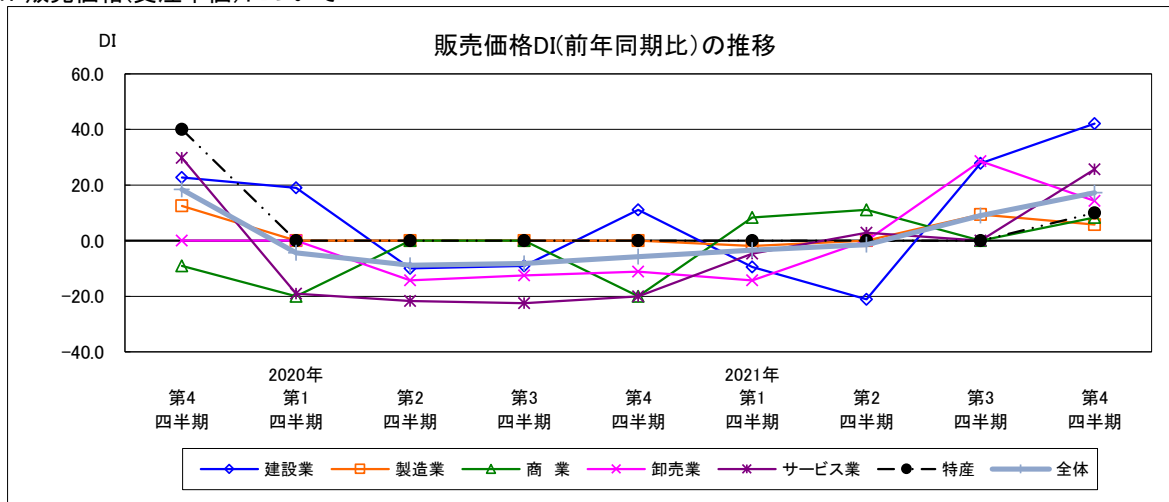
2. 採算について



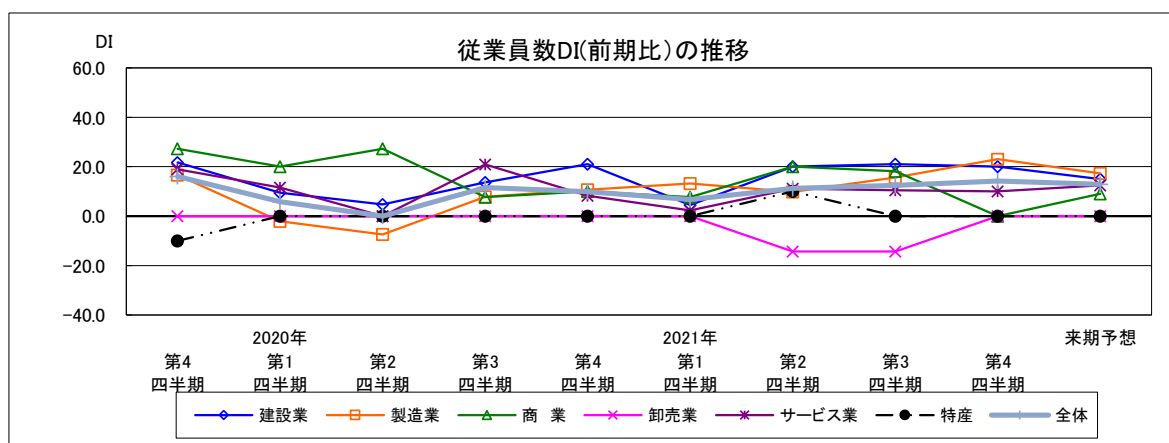
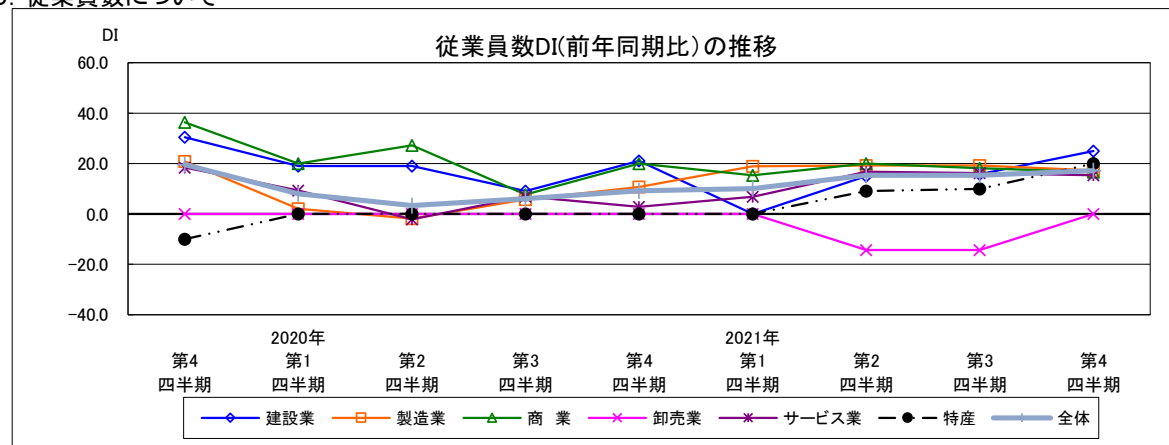
3. 商品在庫について



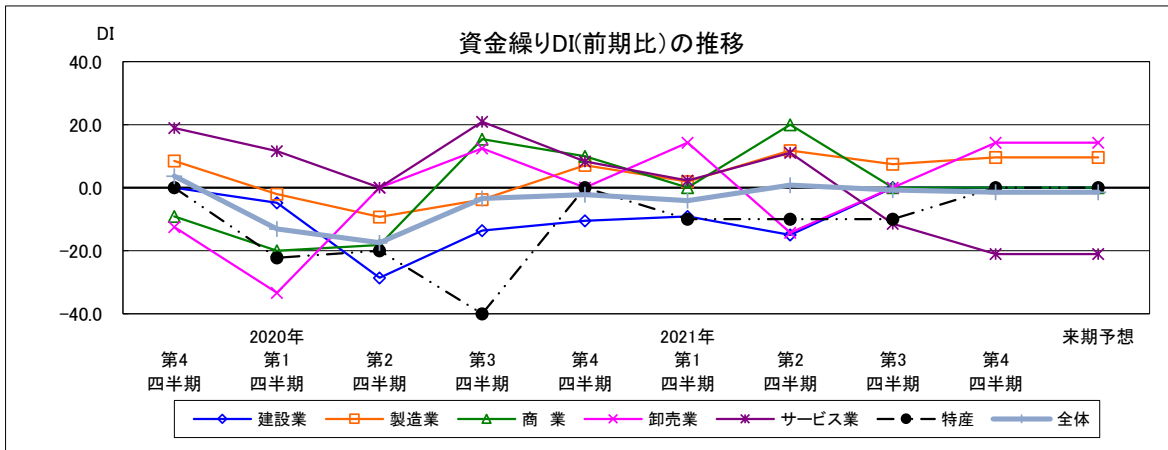
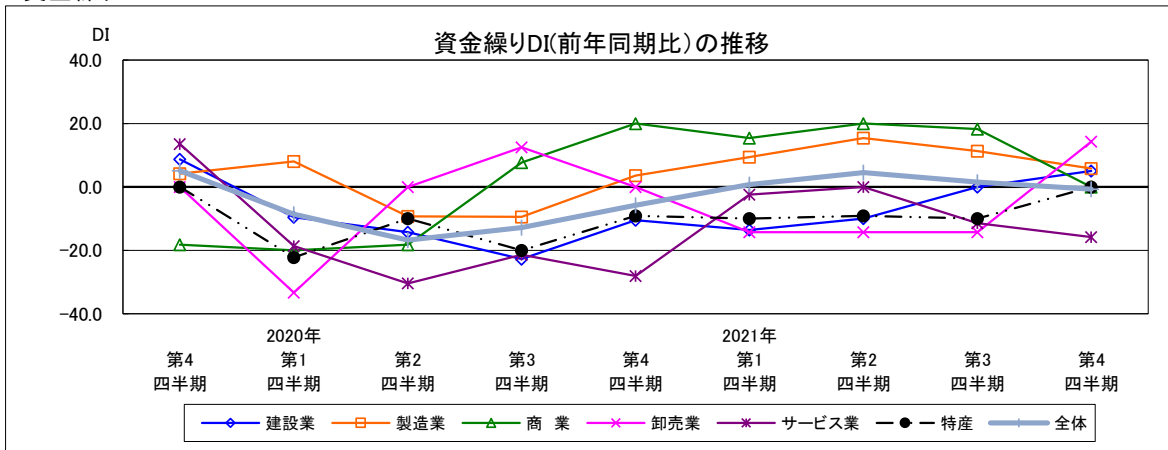
4. 販売価格(受注単価)について



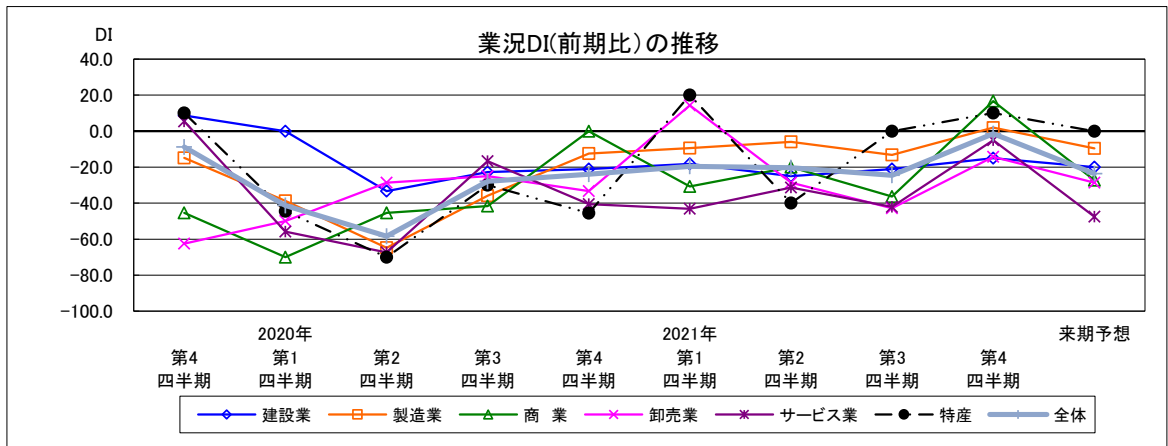
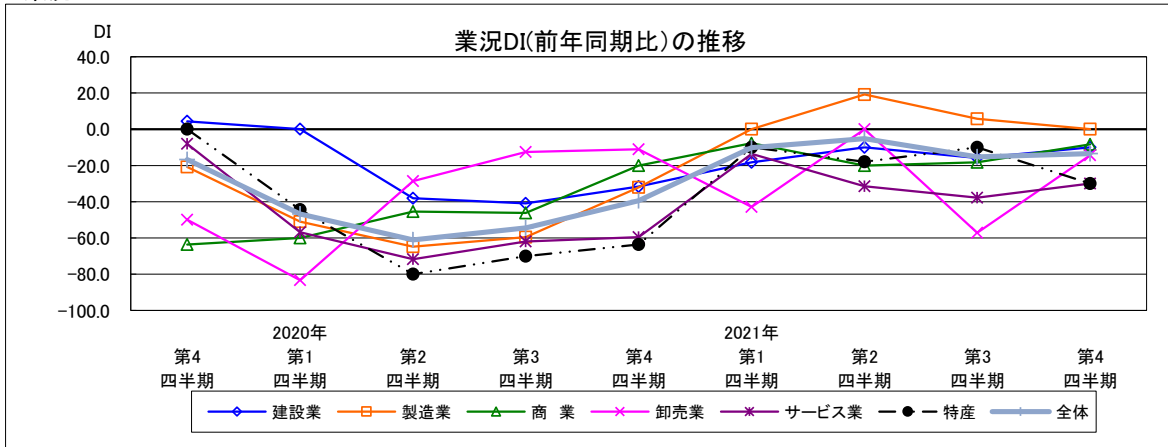
5. 従業員数について



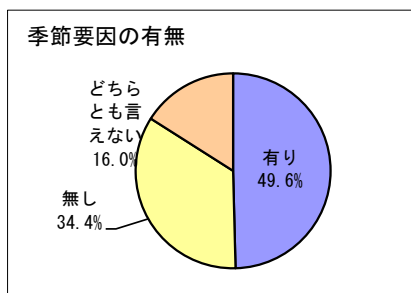
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- 仕入原材料高騰等あり採算に影響している。
- 材料の品不足や高騰により、工期遅延や収益圧迫が想定されます。
- 小野産業団地開発の影響もあり好況です。

○製造業

- 原材料価格が高騰するなか販売価格転嫁できていない厳しい状況。
- 原材料高騰、海洋プラ問題があります。
- 原材料高騰価格値上げによる採算性悪化。
- 注文はあるが材料（部品）不足により売上が伸びない。
- 主力の冬用タイヤは降雪時期が遅れ販売が伸びず在庫が増えた。
- 資材等の値上がりで利益率が悪くなってきています。半導体関係の設備のフル稼働により現状はフル生産しても納期に対応出来ません。
- 原材料すべてにおいて値上げ基調。主原材料が3月より値上げのため、4月より製品の価格改定を実施予定。
- 自動車・建設機械の電動化の対応。

○商業

- 事業用敷地の確保、人員の増加を目指す。昨年より状況は好転気味。
- 半導体、資材不足によりメーカー生産が減少。
- 米価下落で生産マインド下がっている。

○卸売業

- 値上ラッシュが続いている・値上げ幅10～15%の値上げが多い。メーカー欠品中の商品が多く売上が伸びにくい。
- 国内・国外とも製造に必要な材料がほとんど値上がりしているため商品が値上がりしている。

○サービス業

- ガス機器、他商品については半導体、ハーネス部品不足によりメーカーより入荷が遅れており売上等に影響が出ています。
- コロナ禍直後は厳しい状況でしたが密を避けられる屋外スポーツとして来場者が増えており若年層もゴルフを始めるきっかけとなっている。
- 原油高上昇に伴い仕入価格が上昇しています。半導体の不足により機器メーカーより商品の入荷が大幅に遅れています。この状況は4月まで続きそうです。
- 仕出の個数の減少や会社同士の会食の減少や人数制限により売上が減少しています。

○特産

- 受注の変動があるものの生産量はさほど影響ありません。